



国際情報学院中だより

No. 6 令和7年9月4日

教育目標：共生の精神をもち、主体的に力強く生きる人間の育成

校訓：明朗 礼節 進取 自律



1番長い学期のはじまり

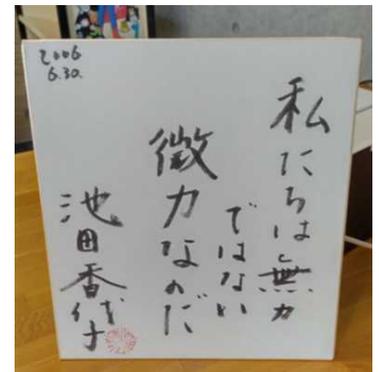
～たくさんの行事、仲間と共に成功を目指して突き進もう～

いよいよ、一年で最も長い2学期が始まります。学校祭（合唱コンクール）や20周年記念式典、3年生の修学旅行、2年生の宿泊体験学習、1年生の職場体験学習など、大きな行事が次々とやってきます。これら乗り越えるには、一人一人の力以上に、クラスや学年、そして全校生徒の団結が欠かせません。KJ生全員の絆こそが、大きな原動力となります。

始業式で校長先生がお話しされた「私たちは無力ではない、微力なのだ」という言葉を、生徒の皆さんも覚えていることでしょう。私自身、この言葉を耳にしたとき、図書館に飾られていた一枚の色紙を思い出しました。それは『もし世界が100人の村だったら』の翻訳者、池田香代子さんがKJに寄贈してくださったものです。

そうです。私たちは「無力」ではなく「微力」です。だからこそ、一人で全てを抱え込むのではなく、互いの力を合わせて大きなことを成し遂げていけばよいと思います。生徒も教師も保護者の皆さまも、みんなで作る「チームKJ」です。

大きな行事が続く2学期ですが、一人一人の「微力」を結集し、仲間と共に困難を乗り越えていきましょう。大変なときこそ仲間を支えられ、また仲間を支える存在でありたいものです。保護者の皆さまにおかれましても、引き続き本校の教育活動へのご理解とご協力をお願い申し上げます。



親子メディアコントロール教室開催

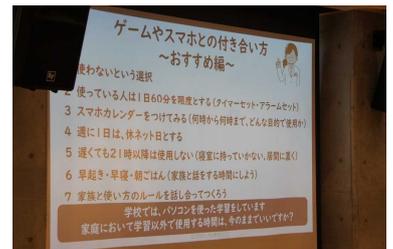
9月3日（水）6校時に、ネットリスク教育の第一線でご活躍中の専門家である内山陽子先生をお招きし、「親子メディアコントロール教室」を開催しました。

充実したプレゼン資料や興味深い動画を交えた講話は大変分かりやすく、生徒たちも真剣な表情で耳を傾けていました。特に印象的であったのは、ただ「スマホはよくない」「睡眠は大切だ」と一方的に伝えるのではなく、スマホが脳に与える影響や使用時間と学力の関係、さらには心身の健康を守る上で睡眠がいかに不可欠であるかを、実際の研究結果に基づいた科学的根拠とともに示してくださった点です。生徒たちにとっても大いに納得できる内容でありました。

本校ではすでに、睡眠ログ（記録）の記入や、ご家庭でのメディアルールづくりを実践していただいております。9月15日からは「メディアコントロール週間」も始まります。今回の講演で学んだ内容をあらためて振り返りながら、日々の生活習慣をよりよいものにするべく、ご家庭全体で取り組んでいただければ幸いです。

平日にもかかわらず、ご参加くださった保護者の皆さまに心より感謝申し上げます。

※裏面に「すこやかな身体をつくる睡眠6か条」を掲載しています。



すこやかな体をつくる睡眠6か条

- 第1条 同じ時間に毎朝起床
- 第2条 朝の光で体内時計をスイッチオン
- 第3条 よい睡眠に規則正しい食事と運動週間
- 第4条 眠りは脳や体を休ませ記憶をよくする
- 第5条 眠る前は自分なりにリラックス
- 第6条 睡眠時間は日中の眠気で困らなければ十分



絆がつなぐ未来への挑戦

～卒業生3人のKJで育んだ絆の力を感じて～



令和7年7月7日(月)の「北鹿新聞」に、本校の卒業生である佐藤さん、阿部さん、奈良さんの3人が紹介されました。記事のタイトルは「大館の道目木ファーム 同級生で農業に挑戦」。3人は現在、平日はそれぞれの仕事に励みながら、週末や祝日には共に農作業に汗を流しているとのことでした。

記事の中では「3人は大館国際情報学院中高の同級生」と紹介されていました。3人はKJ中の3期生です。小学校時代からのつながりをもつ人もいれば、中学で新たに出会った人もいました。それぞれの歩みが重なり合い、6年間の学校生活を共にする中で、行事や日々の学び、笑いや悩みを分かち合い、少しずつ関係を深めていきました。困難も喜びも共有する中で築かれた時間が、やがて確かな絆となり、今もなお、彼らを結び付けているのです。

進んだ進路は違っても、「また一緒に何かをしたい」という想いが3人を再び結び付けたのでしょう。大人になっても夢や目標を共有し、時間を共にできる仲間がいる。それはまさにKJで育んだ絆の証です。

3人の挑戦は、決して偶然の産物ではないと思います。同じ時代、同じ場所でKJに集ったところこそが運命の出会いであり、かけがえのない友情の始まりだったのだと思います。いまKJで学ぶ皆さんにも気づいてほしいと思います。ともに学ぶ仲間たちと過ごす日々の中に、未来へとつながる奇跡の芽が宿っています。その「絆」を、ぜひ大切にしてください。

そして、今回の記事のように、いつか社会に出たときに再び手を取り合って歩むような、そんな関係を築いていってほしいと願っています。

送迎へのご協力、本当にありがとうございました

連日の大雨により、県内各地でさまざまな被害が発生しております。特に本校は広域から生徒が通学しているため、電車を利用する生徒も多く、運休の影響を大きく受けました。

そうした中、電車通学の生徒がいるご家庭の皆様には、連日にわたり車での送迎にご協力いただき、心より感謝申し上げます。

今後も自然災害等の際には、学校として迅速かつ正確な情報提供に努めてまいりますので、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

